

建設テックの最新動向と 各社のAI活用状況について

(一社) 日本建設業連合会 ICT推進部会
先端ICT活用専門部会

I . 生成AIの利活用に関する アンケート結果報告

0. 生成AI利活用のアンケート概要

■ アンケートの背景

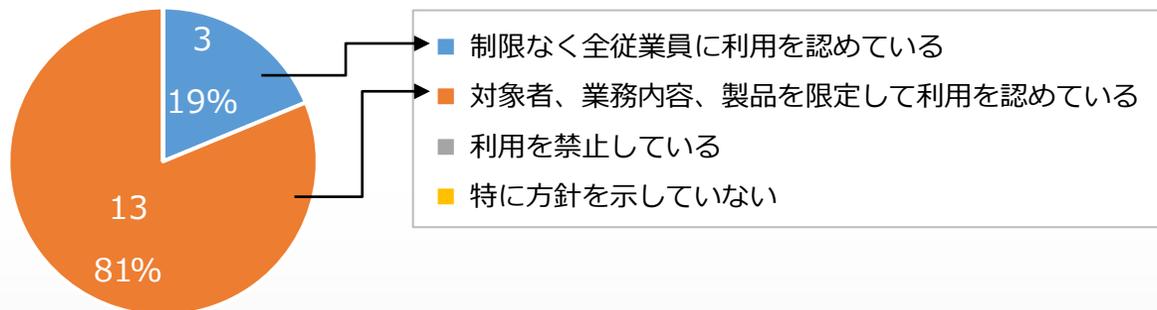
- 生成 AI ブームのきっかけとなった ChatGPT が公開されて 2 年が経過し、Microsoft の Copilot をはじめ、各社の利活用が進みつつあります。そこで先端ICT活用専門部会に参加している各企業に現状についてアンケートを実施しました。
- なお回答者は先端ICT活用専門部会の各委員としていただきますので、回答内容によっては正確性に欠ける部分があるかもしれませんが、ご容赦ください。

■ アンケート実施概要

- 実施時期
 - 2024年11月～12月
- 対象企業（社名五十音順）
 - 安藤ハザマ、大林組、奥村組、鹿島建設、熊谷組、鴻池組、五洋建設、清水建設、大成建設、竹中工務店、東急建設、戸田建設、西松建設、フジタ、前田建設工業、三井住友建設

1. 生成AIの業務利用と用途をお答えください

1.1 「生成AI」の業務利用を従業員に認めていますか



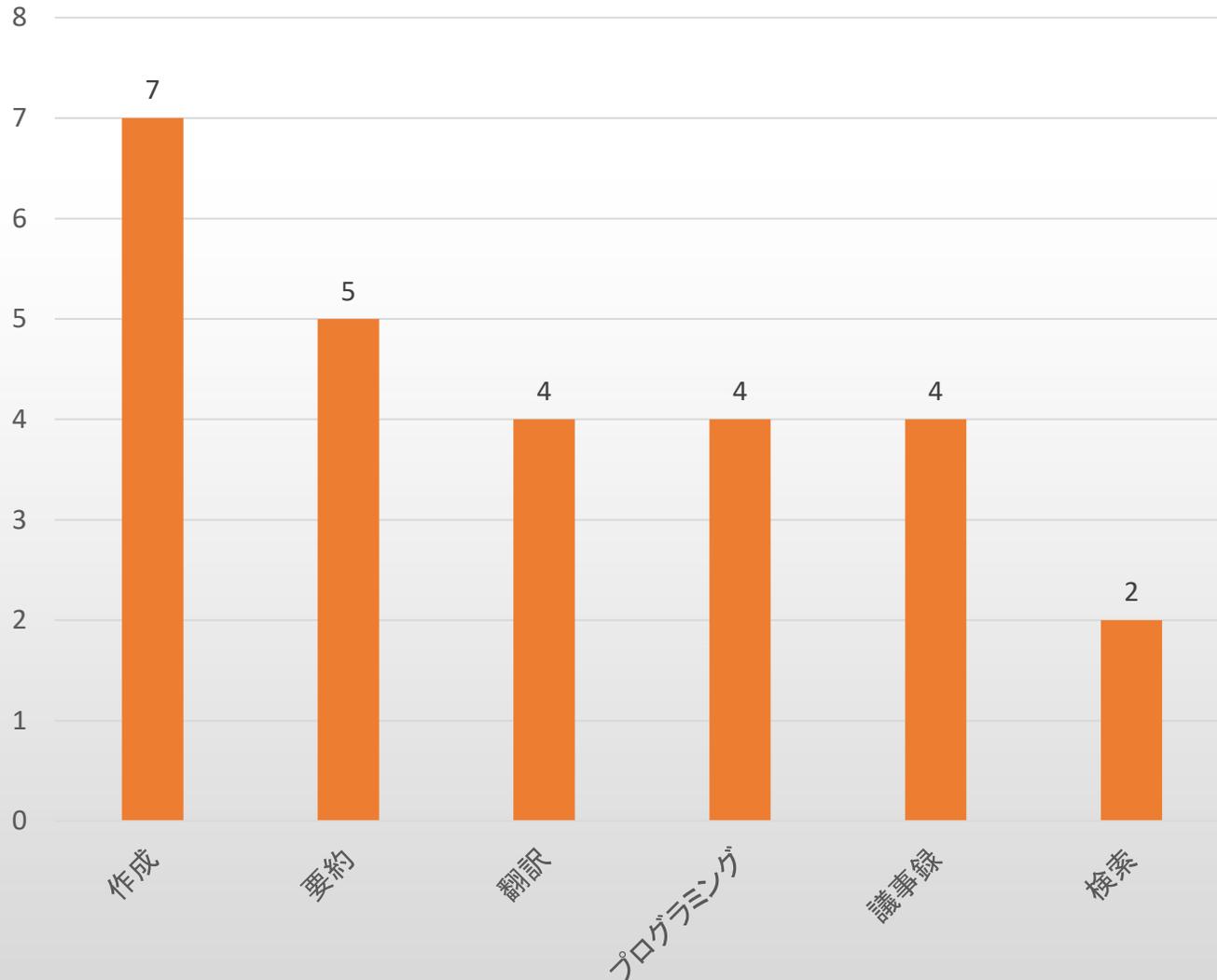
- 有効性は理解されている為か利用を禁止している会社は無い。
- ただし、8割の会社が対象者、業務内容、製品を限定して利用している。

1.2 「生成AI」の活用用途をお答えください



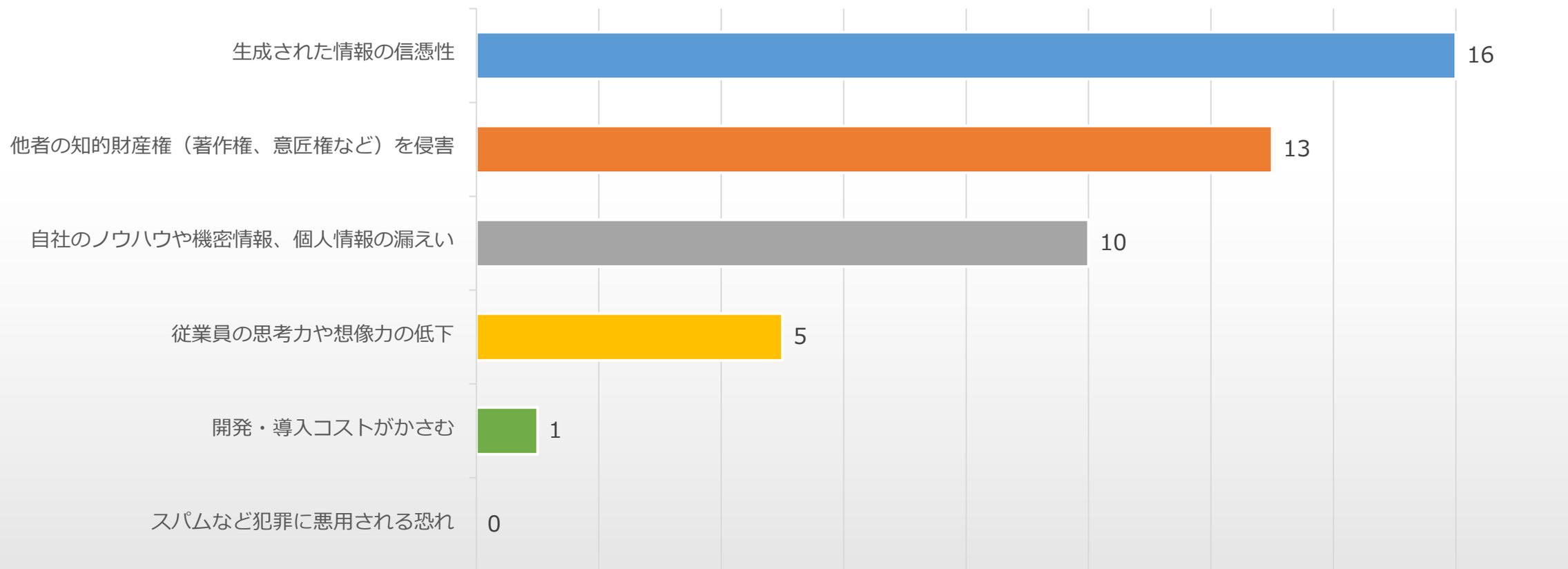
- 回答した全社が翻訳に利用しており、続いて要約、メール作成、プログラミング、アイデア出しの利用が多い。
- 一方、デザイン、データ分析、施工・安全管理、検査支援などは半数以下に留まる。
- RAGによる社内文書検索は9社が導入している。
- 上記の選択肢以外に「社内決裁のテンプレート作成」という用途が1社あった。

2. 上記で利用しているものの中で、特に活用効果が出ているものがあれば教えてください



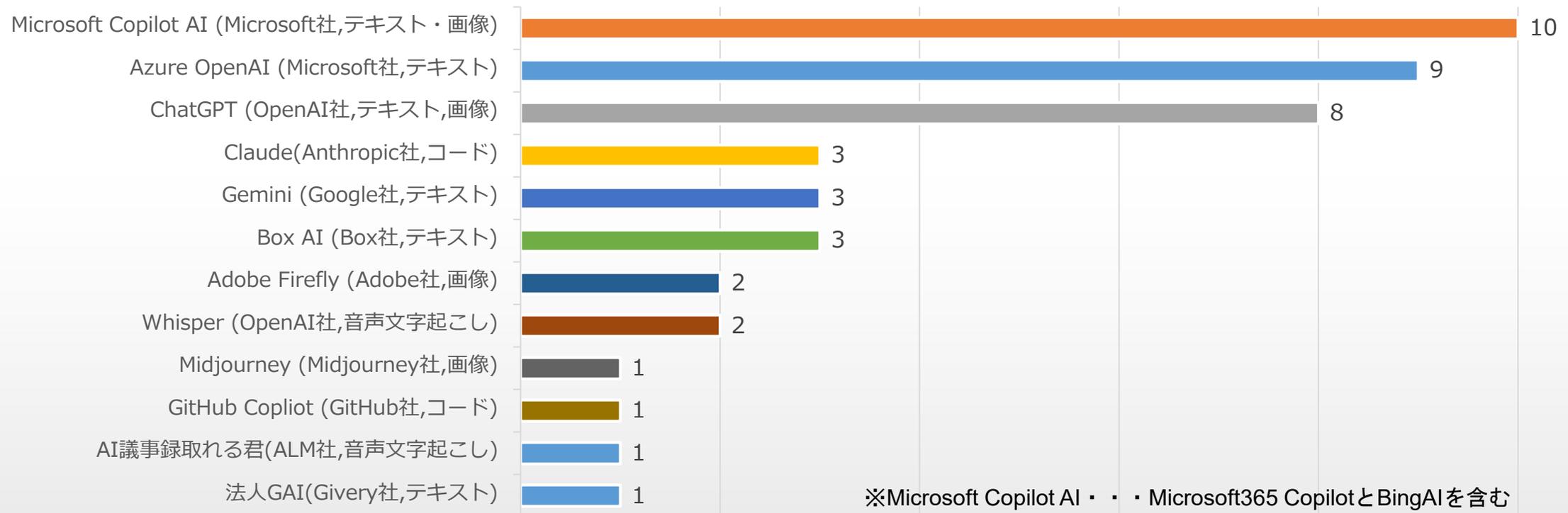
- 特に効果が出ている用途として、社内文書の作成・要約（12社）という回答が最も多い。続いて翻訳（4社）とプログラミング（4社）が続く。他にアイデア出し/壁打ちなど。
- 定量的な効果測定まで回答したのは2社のみ。（月間1～4時間の削減効果）
- 社内文書検索（RAG）は9社が導入済みだが、効果が出るのはこれからの模様。
- 他に建築設計の初期段階の作業を効率化するという会社が1社あった。

3. 生成AIを利用する上での懸念点を、以下の選択肢から選んでください



- 懸念点として、全社が「生成された情報の信憑性」と回答している。
- 続いて「他者の知的財産権を侵害」「情報漏洩」が半数以上、「思考力・想像力の低下」が約3分の1となっている。

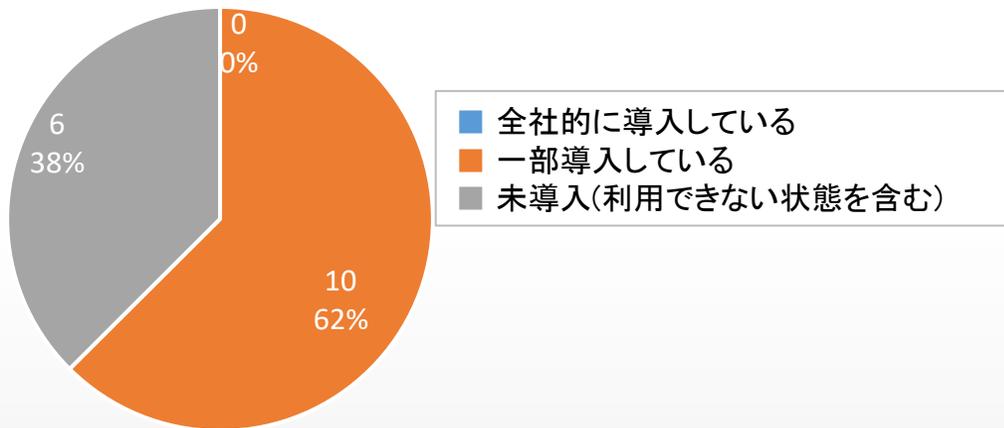
4. 現在、利用している生成AIについて、製品（サービス）名をお答えください



- Microsoft Copilot AI（10社）とAzure OpenAI（9社）が最も多く、既存の業務環境（word、excelなど）との親和性や高いセキュリティ・信頼性が優先されている。
- GeminiやBox AIは企業の導入状況の違いによるものと考えられるが、ドキュメント作成や翻訳、要約など業務効率化に直結するAI技術の利用が多い。

5. Microsoft 365 Copilot について

5.1 Microsoft 365 Copilot を導入していますか？



➤ 全社的に導入している会社は無く、一部導入していると回答した会社は全体の62.5%（10社）であった。未導入には検証後に導入を中止した会社も含まれる。

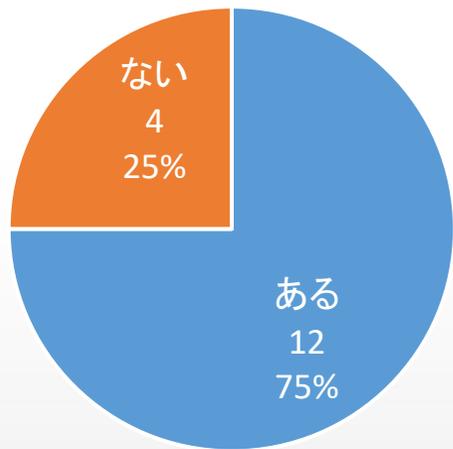
5.2 Microsoft 365 Copilot で活用しているユースケースがあればご記入下さい。



➤ 主な用途としてはTeams会議の要約や議事録の作成が挙げられている。
➤ また、少数ではあるが、FormsやWord、PowerPoint、Excelなどでの活用も見受けられる。

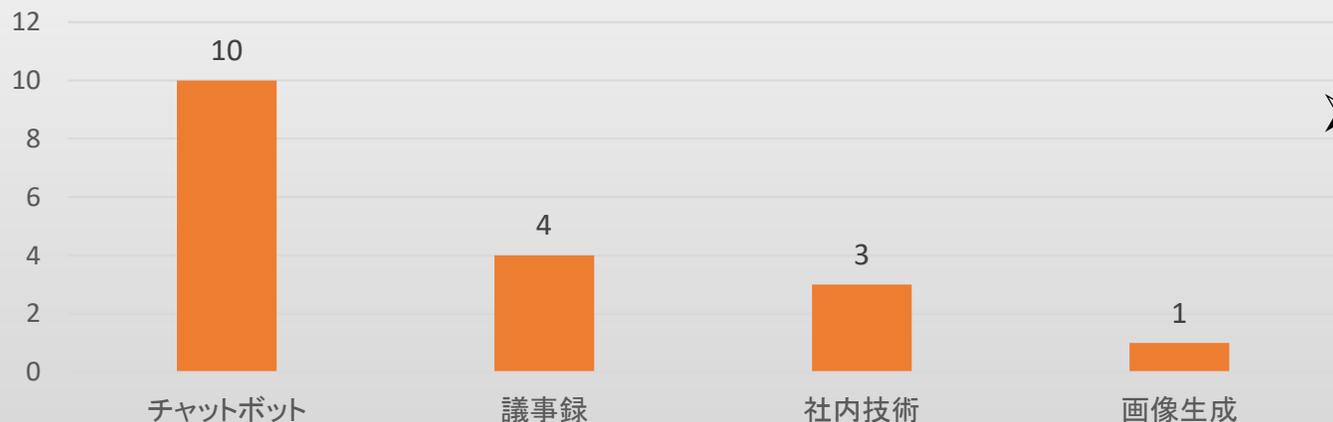
6. 生成AIを用いた社内専用AIサービスについて

6.1 生成AIを用いた社内専用AIサービスがありますか？



- 生成AIを用いた社内専用サービスがあると回答した会社は全体の75%（12社）であった。

6.2 "ある"を選択した方におたずねします。どのようなサービスですか？



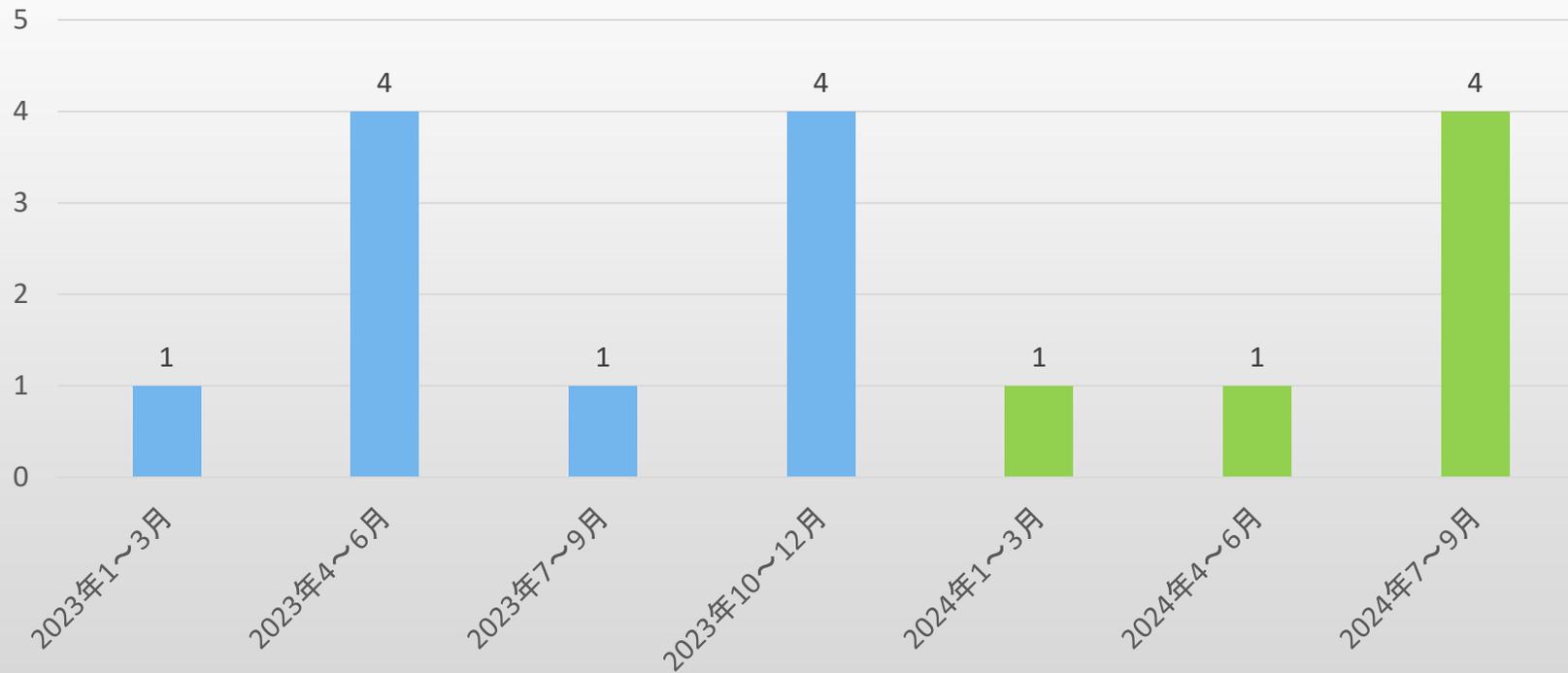
- 生成AIを用いた社内専用サービスがあると回答した12社のうち、サービスとしてはチャットボットが10社と一番多く、次いで議事録作成・要約が4社となっている。

7. 「生成AI」の業務利用に関するルールや指針を作成していますか？

7.1 「生成AI」の業務利用に関するルールや指針を作成していますか？

- 回答した16社全て、ルールや指針は100%作成しているという結果となっている。

7.2 作成した時期はいつ頃ですか？



- 16社中、10社は2023年までに作成している。
- 残り6社も2024年8月までに作成済み。

8. その他生成AIに期待すること

● 生成AIに期待すること

- ✓ 施工計画の最適解を生成、技術者支援（技術的質問に答える）
- ✓ 議事録作成
- ✓ 工程表の作成、仮設計画
- ✓ 文書・議事録の要約
- ✓ 簡単なマクロ作成やプログラム作成には非常に有用
- ✓ 企画書を作成する上での言葉選び

● その他意見

- ✓ 生成AIを活用した開発は現段階では極力行わない。世間の動向（新サービスの公開）を注視している。
- ✓ Box等を含めたイントラ内データ検索エンジンの置き換え時に生成AIを利用するか検討中。

9. その他生成AIに関する課題

1) 回答精度

- 生成AIに建設業の知識が不足している。専門的な内容に関して回答精度が甘い。
- 目的に合わせた学習データが揃えづらい。
- 生成する回答に嘘（ハルシネーション）が含まれるので、必ず人によるチェックが必要。
- 生成結果は正確性が保証されるものではないので、生成された情報を鵜呑みにせず、あくまでも業務の補佐や、参考程度に使用するよう社内ルールを制定した。

2) 普及の遅れ・利用格差

- 社内専用チャットボットをリリースして1年半が経過したが、まだ約半数の社員が使っていない。
- 内勤での利用は試行錯誤しながら進んでいるが、外勤ではあまり利用が進んでいない。
- グループ全体の教育啓蒙活動と有益なプロンプトの共有などが課題。
- 生成AIの活用に関するルールはあるが、活用方法のような「使い方」に関する情報が発信されておらず普及していない。
- 一部部署ではVBAやPythonのコードを書く補助ツールとして使われているが広がってはいない。
- 活用している・使いこなしている人、できていない人の差がある。

3) 利用コスト

- 利用を推進する立場としては、できるだけ良さを理解してもらって利用促進を図りたいが、利用料がユーザー課金のため普及の足かせになっている。
- Microsoft 365の契約更新に伴うCopilotライセンス費用の増大

ご清聴ありがとうございました

ICT推進部会 先端ICT活用専門部会

(社名五十音順)

安藤ハザマ
大林組

奥村組
鹿島建設
熊谷組
鴻池組

五洋建設
清水建設

清水 充子
西田 拓也
堀内 英行
鳥飼 裕之
高橋 健一
山口 紘平
金谷 幸信
藤原 光弥
清田 茂晃
野村 裕一

清水建設
大成建設

竹中工務店
東急建設
戸田建設
西松建設
フジタ

前田建設工業
三井住友建設

富樫 正明
中谷 晃治
中西 修一
大東 宗幸
平井 康博
金子 敦
有馬 裕樹
森時 悠
海老沼 博幸
染谷 雅俊